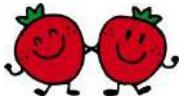


5月 にじグループだより



日々の寒暖差が激しく体調を崩しやすい1か月ではありましたが、幼稚園では毎日元気いっぱいな声が響き渡っています。5月は心待ちにしていたいちご狩りに行きました。「いちごめっちゃいっぱい食べれて嬉しかった！」「甘くてめっちゃ美味しかった！」「虫を見て面白かった」と笑顔があふれています。お休みをしたお友だちもいましたが、「園庭のプランターに出来ているいちごを休んだ友だちに食べてほしい！」という声が上がり、幼稚園でいちごを収穫して食べました。みんな無事にいちごを食べられて、笑顔がたくさん見られて良かったです。

ようこそ！！

保護者の方に連れてきていただいたカエル3匹【ピュアカエルちゃん(♀)きくくん(♂)ケロくん(♂)】が、新たににじグループの仲間になりました。カエルのエサは生きた虫です。特にハエやガなど飛び回る虫を好んで食べるため、毎日虫取り網を片手に園庭を走り回って虫探しをしています。虫を捕まえると「ご飯だよー！」と一目散にカエルのもとへ笑顔で走っていくにじグループさん。ある日オリーブ館の金柑の木にアゲハの幼虫がいるのを見つけたAちゃん。カエルは幼虫が大好物です。そこで『アゲハの幼虫をカエルのご飯にするかしないか会議』が開かれました。「蝶も見たいから幼虫を1匹だけ食べさせよ」「幼虫1匹だけだとカエルがお腹空くから3匹とも食べさせたい」「大好物なら食べさせてあげたい」という意見が出てきました。今まで幼稚園で幼虫を飼育したこともあり、「食べさせたくない」という意見が多く出ると思っていたので、子どもたちの意見に正直驚きました。私は内心「アゲハの幼虫はかわいそうだから食べさせたくないな…」と思っていました。子どもたちは「アゲハだから」ではなくカエルのことを今は一番に考えているのだと感じました。ミミズやハエはご飯としてあげられるけど、「アゲハはかわいそう」と同じ命にも関わらず私の中で区別をしてしまうのはなぜだろうか、普段私は魚やお肉など他の動物たちの命を頂いていのと同じように動物の世界にも食物連鎖があるのかなど、様々なことを考えさせられる出来事でした。3匹のカエルと触れ合うことや毎日の変化を楽しんだり、命の大切さを感じたりしながら日々過ごせたらなと思います。

『小さいモモちゃん』

今月からサークル活動の時間に『小さいモモちゃん』という絵のない本を読んでいます。モモちゃんが家族やお友だちと一緒に現実とファンタジーの世界で日々過ごし成長していく物語です。絵がないため耳でお話を聞き頭の中で物語の世界を想像しています。初めは集中することが難しかったり、声を聞くだけで物語をイメージすることが難しかったりしましたが、少しずつ集中できるようになり、「昨日はモモちゃん電車に乗ってたね」「お母さんパンツ30枚も作ったんだよね」「雲アイスって綿あめみたいなんかな？」とお話を楽しんでいます。絵本だけでなく様々な物語にも親しんでいけたらと思います。



6月の活動について



みんなが楽しみにしているプール遊びや水遊び、泥んこ遊びなどこの時期ならではの遊びを楽しみたいと思います。また体が気温の変化に慣れず、熱中症にかかりやすい時期です。外に出る時間帯や長さの考慮・細めに水分補給や休憩を取る・服装の調節など十分に熱中症をして過ごしたいと思います。



担任 前田 萌花